エコアクション21
環境経営レポート

東海耐摩工具株式会社

活動運用期間：2022年4月～2023年3月

承認	確認	作成
永田健	高倉悟	内田香
社長	環境管理責任者	環境事務局

作成日：2023年4月21日
更新日：2023年6月25日

目次

１．取組の対象組織、活動・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２．環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

３．実施体制図及び役割、責任、権限表・・・・・・・・・ 6

４．環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

５．環境経営活動計画の実績および評価 ・・・・・・・ 9

６．取組実例紹介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

７．次年度の取組内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

８．環境関連法規制等の遵守状況 ・・・・・・・・・・・ 21

９．代表者による全体評価と見直し ・・・・・・・・・・ 22

１．取組の対象組織・活動

（１）名称及び代表者名
名称：東海耐摩工具株式会社
代表者：永田　健太郎

（２）所在地　愛知県名古屋市守山区川宮町335
本社工場：名古屋市守山区川宮町335

（３）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者氏名：　高倉　悟
環境事務局氏名：　高倉　悟　　内田　喬大
連絡先：052-794-6321

（４）事業内容　:粉体成形金型の製造及び粉体成形金型用の冶工具の製造
（事業年度:4月～翌年3月）

（５）沿革　昭和39年2月　東海耐摩工具株式会社創立（名古屋市）
昭和61年　第一期増築
昭和63年　第二期増築

（６）事業の規模

従業員数　34人

床面積　1631.43㎡

（７）認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名：　東海耐摩工具株式会社

認証・登録の範囲：　本社工場（名古屋市守山区川宮町335）の全組織・全活動

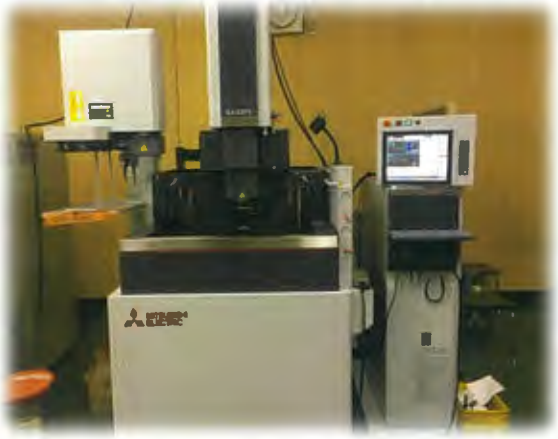
活動：　粉体成形金型の製造及び粉体成形金型用の冶工具の製造

（8） 主要設備

機種	メーカー	型式
NC旋盤	ワシノ	LN-32N
旋盤	ワシノ	LR-55A
フライス盤	牧野フライス	KSJP・KVP-55
マシニングセンター	安田工業	YMC430 / YMC430ver Ⅱ /YBM640ver Ⅳ
	キタムラ	マイセンサー1・マイセンサー1B
	牧野フライス	V33-5XB
	碌々産業	MEGA-SS400・MEGA-SS600

NC平面研削盤	岡本	PSG-63DXNC
平面研削盤	和井田	SPG-Wi
	日興	MSG-6HP
	ワシノ	MEISTER PRO
NC内面研削盤	太陽工機	IGV-3NT
コンタ	日本工業	L-300

ワイヤーカット	三菱	PX05
	三菱	FA10PM・FA10PMS
	三菱	PA05SM
	三菱	MP1200
放電加工機	三菱	VH-10M
	三菱	ADMAQ-E903150
	三菱	N35KC7（ATC）
	三菱	EA12VM　/　EA12PSM



ラッピング機	東洋エクスツールドホーン	MARHV2-120
ホーニグ盤	富士ホーニング	FK-8A
SF式ホーニング盤	タミックス	TH-S
エアロラッパー	ヤマシタワークス	YT-100

２．環境経営方針

東海耐摩工具株式会社

＜環境経営基本理念＞

東海耐摩工具は、豊かな地球環境を後世に残すため、
ものづくりを通じ「法令遵守」「環境保全」「品質向上」
「社会貢献」を総員参加のもと自主的かつ
積極的に取組みます。

＜環境経営方針＞

１．　事業活動において、以下の環境課題について重点的に取組みます。

①　CO2の削減を推進します。

②　廃棄物の削減を推進します。

③　排水量の削減を推進します。

④　化学物質使用量の削減を推進します。

⑤　グリーン購入、グリーン調達を推進します。

⑥　環境負荷の低減を目指したものづくりを行います。

２．　環境保全に関連する関連法規制や条例、その他の環境関連要求事項など
当社が約束したことを遵守します。

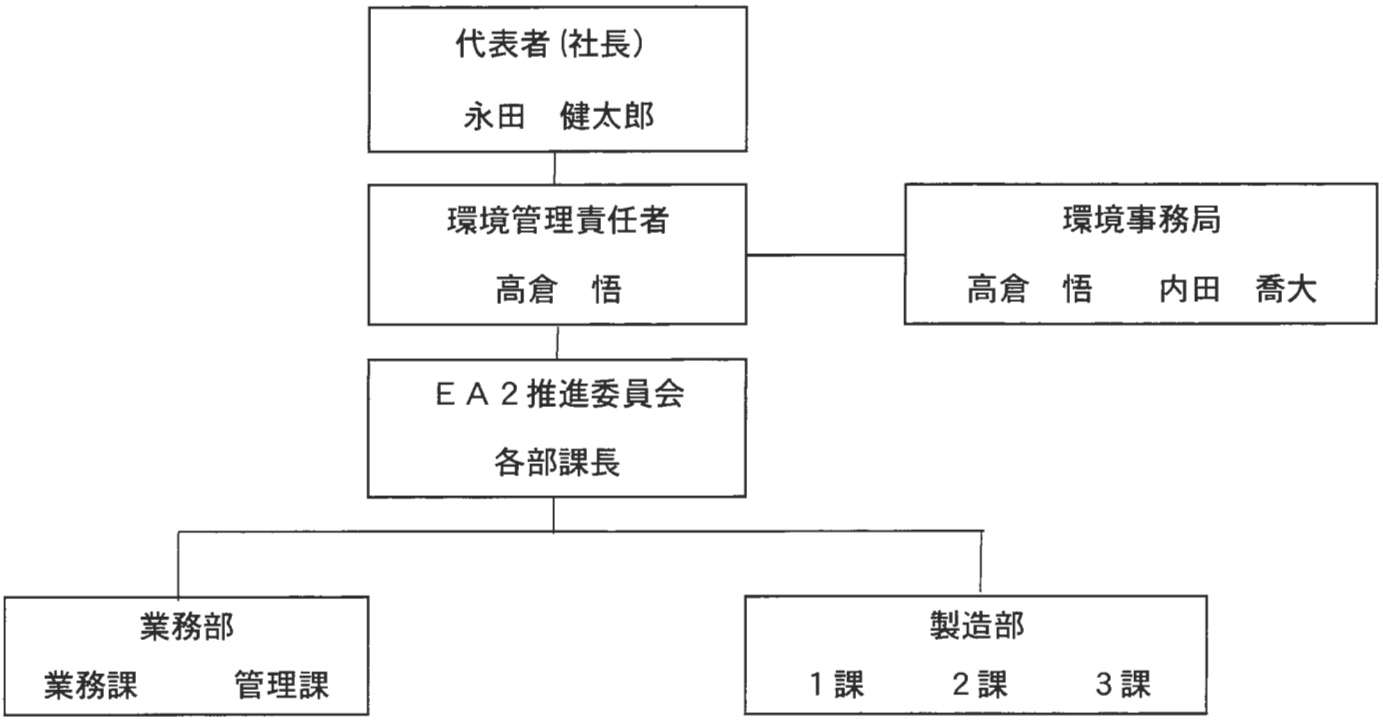
３．　この環境方針達成のため全社員へ方針を周知し、必要に応じて一般へ公表します。

制定日：　2018年　3月　20日

代表取締役

永田　健太郎

3. 実施体制図及び役割、責任、権限表



	役割・責任・権限
代表者　（社長） 永田　健太郎	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能技術者の準備 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標設定書の承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施 ・環境経営活動レポートの承認
環境管理責任者 高倉　悟	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境経営目標設定書の確認と環境経営活動計画書の承認 ・環境経営活動の取組結果を代表者への報告 ・環境経営活動レポートの確認及び地域事務局への送付 ・各種手順書の承認 ・EA21推進委員長
環境事務局 高倉　悟 内田　喬大	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境経営活動レポートの作成、公開 ・自部門、自部署に想定される事故、緊急事態への対応のための手順書作成試行・訓練の実施、記録の作成
ＥＡ２１ 推進委員会	・環境経営活動計画の審議 ・環境経営活動実績の確認・評価
各部課長	・自部門、自部署に関連する環境経営システムの実施 ・自部門、自部署における環境経営方針の周知 ・自部門、自部署の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門、自部署の環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門、自部署に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門、自部署の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性の自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動への参加

4．環境経営目標

～主な環境経営負荷の実績

環境への負荷		単位	2022年	2021年	2020年
温室効果ガス排出量	電力	kg-CO_2	650, 450	674, 108	636, 920
	化学燃料	kg-CO_2	10, 609	16, 039	16, 131
	合計	kg-CO_2	661, 059	690, 147	653, 051
二酸化炭素調整後排出係数 0.472kg-CO2/kWh 中部電力　2017年度	（　売上高　）	千円	326, 378	380, 841	374, 416
廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物（有価物）	kg	0	0	0
	一般廃棄物（埋立、焼却）	kg	54.5	51.1	78
	最終処分量	kg	54.5	51.1	78
	産業廃棄物（有価物）	kg	2832	4306	3261
	最終処分量	kg	2832	4306	3261
総排水量	下水道	m^3	1172	1198	1158
水使用量	上水	m^3	1, 379.0	1, 409.5	1, 362.5
化学物質使用量	除錆剤	kg	16.20	17.8	16.9
	防錆剤	kg	41.04	52.0	45.0
	洗浄剤	kg	28.92	30.2	31.5
	接着剤	kg	25.92	42.2	25.8
	合計	kg	112.1	142.2	119.2
総製品生産量または総商品販売量	容器包装使用量	円	20, 495	19, 076	21, 095

～環境経営目標～

目標項目		基準値 （基準年度　2017年度）	2022年度 （目標）	2023年度 （目標）	2024年度 （目標）
二酸化炭素排出量の削減	電力	1,418,387khw 669,479 kg-CO2 二酸化炭素調整後排出係数： 0.472ｋｇ-ＣＯ2/ｋＷｈ 中部電力　2017年度	89% 595,836 kg-CO2 空調温度の適正化 （冷却28℃　煖房20℃） エアコンフィルター清掃 加工時間短縮 LED照明への切り替え 研磨機1台更新 旋盤1台更新 旋盤オーバーフロー	88% 589,142 kg-CO2 空調温度の適正化 （冷却28℃　煖房20℃） エアコンフィルター清掃 加工時間短縮 製造工程変更 LED照明への切り替え WC機1台更新 エアコン更新	87% 582,447 kg-CO2 空調温度の適正化 （冷却28℃　煖房20℃） エアコンフィルター清掃 加工時間短縮 製造工程変更 エアコン更新 放電1台更新
	自動車燃料	ガソリン　8,751ℓ 20,317 kg-CO2	97% 19,707 kg-CO2 アイドリングストップ 社有車1台更新　1台廃棄	96% 19,504 kg-CO2 アイドリングストップ 社有車1台更新	95% 19,301 kg-CO2 アイドリングストップ 社有車1台更新
	合計	689,796 kg-CO2	615,544 kg-CO2	608,646 kg-CO2	601,748 kg-CO2
廃棄物の削減	一般廃棄物	（紙類・生活ゴミ） 基準年度　2017年度 82.00 kg	94% 77.08　kg 両面コピーの徹底 個人ゴミ削減 ペーパーレス化	93% 71.68　kg 両面コピーの徹底 個人ゴミ削減 ペーパーレス化	92% 75.44　kg 両面コピーの徹底 個人ゴミ削減 ペーパーレス化
	産業廃棄物・有価物	（金属・腐プラスチック） 基準年度　2017年度 4,780 kg	94% 4,493 kg 工程内不良削減 購入材料見直し 鉄・超硬の有効活用	93% 4,445 kg 工程内不良削減 購入材料見直し 鉄・超硬の有効活用	92% 4,398 kg 工程内不良削減 購入材料見直し 鉄・超硬の有効活用
	合計	4,862 kg	4570　kg	4517　kg	4473　kg
総排水量の削減	節水	上水 1,173 ㎥ 下水道 938㎥	94% 1102.62 ㎥ 節水呼び掛け 洗浄工程の改善 省エネトイレ取付 外壁冷却設備改造	93% 1090.89 ㎥ 節水呼び掛け 洗浄工程の改善 省エネトイレ取付	92% 1079.16 ㎥ 節水呼び掛け 洗浄工程の改善
化学物質	化学物質の削減	化学物質使用量 229.5 kg	94% 215.73 kg 洗浄する製品の選別 作業ミスによる使用量抑制 物質の気発防止 化学物質の選別 環境に優しい化学物質選別	93% 213.435 kg 洗浄する製品の選別 作業ミスによる使用量抑制 物質の気発防止 化学物質の選別 環境に優しい化学物質選別	92% 211.14 kg 洗浄する製品の選別 作業ミスによる使用量抑制 物質の気発防止 化学物質の選別 環境に優しい化学物質選別
物質投入	グリーン購入	環境に優しい商品の購入 （材料は顧客指定の為除外） 比率　100％	100% 事務用品はグリーンマークの有無を確認 機械設備等は機械を比較し環境に優しい商品を購入	100% 事務用品はグリーンマークの有無を確認 機械設備等は機械を比較し環境に優しい商品を購入	100% 事務用品はグリーンマークの有無を確認 機械設備等は機械を比較し環境に優しい商品を購入
環境配慮	環境負荷の低減を目指したものづくり	2017年度（基準年） 包装紙金額 22,295 円	94% 20,957 円 包装紙削減 再生資源使用 包装方法の見直し 包装する製品の見直し	93% 20,734 円 包装紙削減 再生資源使用 包装方法の見直し 包装する製品の見直し	92% 20,511 円 包装紙削減 再生資源使用 包装方法の見直し 包装する製品の見直し
社会貢献		会社周辺の清掃 年2回　実施 夏…6月　冬…12月	年2回 6月・12月の大掃除時に会社周辺の清掃時間を設ける	年2回 6月・12月の大掃除時に会社周辺の清掃時間を設ける	年2回 6月・12月の大掃除時に会社周辺の清掃時間を設ける

5．環境経営活動計画と実績及び評価

1．2022年度環境経営活動計画と実施（2022年4月～2023年3月）

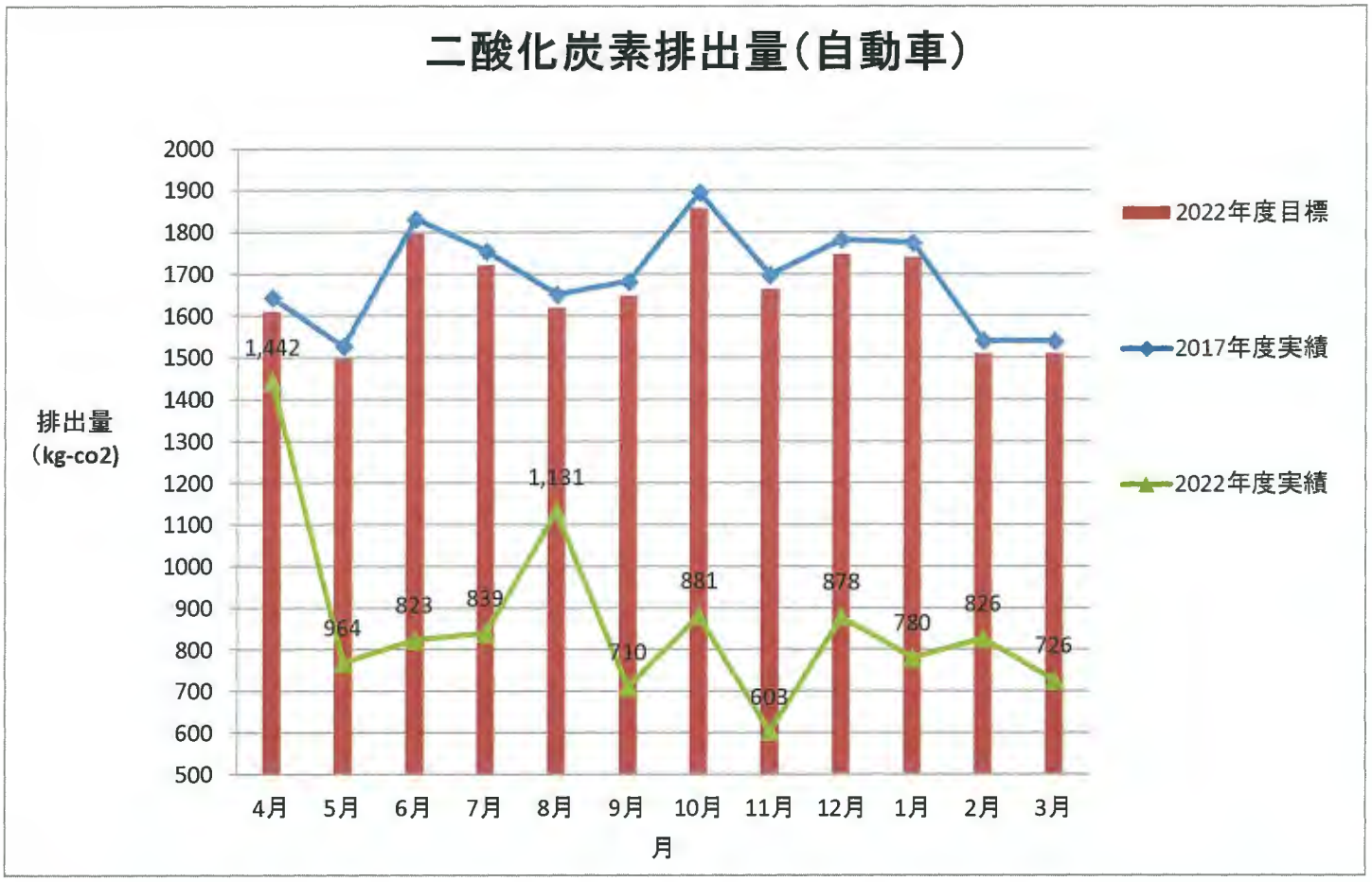
2022年度環境取組と目標 （2022年4月～2023年3月）		目標達成手段	実績値 (2022/4～2023/3)	達成率 ○or△or×
電力の削減		・空調温度の適正化 (冷房28℃　煖房20℃) ・エアコンフィルター清掃 ・省エネ用LED照明切り替え ・外壁冷却設備加増 ・汎用旋盤更新・OH ・研磨機1台新規	650, 450 kg-CO2	92% ×
基準年	669, 479 kg-CO2 二酸化炭素調整後排出係数 0. 472ｋｇ-ＣＯ2/ｋＷｈ			
2022年度目標	中部電力　2017年度			
基準年比率	89%			
削減率	-11%			
目標値	595, 836 kg-CO2			
自動車燃料の削減		・アイドリングストップ ・急加速、急停止の防止 ・社有車1台買換え ・社有車1台破棄	10, 405. 5 kg-CO2	189% ○
基準年	20, 318 kg-CO2			
2022年度目標				
基準年比率	97%			
削減率	-3%			
目標値	19, 708 kg-CO2			
基準年合計	689, 797 kg-CO2		660, 856 kg-CO2	93%
目標合計	615, 544 kg-CO2			
一般廃棄物の削減		・分別の徹底 ・両面コピーの徹底 ・個人ゴミの削減 ・会議資料ペーパーレス化	54. 50　kg	141% ○
基準年 2017年度	82. 00 kg			
2022年度目標				
基準年比率	94%			
削減率	-6%			
目標値	77. 08 kg			
産業廃棄物・有価物の削減		・鉄/超硬の有効活用 ・購入資材見直し （鉄・超硬） ・工程内不良削減 （前年度比10%減）	2, 832 kg	159% ○
基準年 2017年度	4780 kg			
2022年度目標				
基準年比率	94%			
削減率	-6%			
目標値	4493 kg			
基準年合計	4862　kg		2, 887 kg	158%
目標合計	4570　kg			
水の削減		・節水呼掛け強化 （節水シール・ポスター ・洗浄工程の改善 ・外壁冷却設備改造 （スプリンクラー水再利用）	1379. 00　㎥	80% ×
基準年2017年度	1, 173 ㎥			
2022年度目標				
基準年比率	94%			
削減率	-6%			
目標値	1, 103 ㎥			
化学物質使用量		・洗浄する製品の選別 ・使用量の適正化 ・作業ミス低減により使用量の抑制 ・物質の気発防止 （保管方法見直し）	207. 28 kg	104% ○
基準年2017年度	229. 5 kg			
2022年度目標				
基準年比率	94%			
削減率	-6%			
目標値	215. 73　kg			
グリーン購入		・事務用品はグリーンマークの有無を確認 ・機械設備等は、機械比較し環境に優しい商品を購入	100 %	100% ○
基準年	100%			
2022年度目標				
基準年比率	100%			
目標値	100%			
製品への環境配慮		・再生資源使用 ・包装紙の削減 ・包装方法の見直し ・包装する製品見直し	20, 495 円	102% ○
基準年 2017年度	22, 295 円			
2022年度目標	94%			
目標値	20, 957 円			

2. 2022年度環境経営活動実績（2022年4月～2023年3月）

二酸化炭素排出量（電力）2022年4月～2023年3月 (kg-CO2)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年度実績値	44, 399	52, 173	58, 810	72, 980	78, 108	59, 586
2022年度目標値	39, 515	46, 434	52, 341	64, 952	69, 516	53, 032
目標比率	89%	89%	89%	89%	89%	89%
2022年度実質値	50, 969	49, 568	51, 263	53, 405	67, 182	70, 631
達成率	77. 53%	93. 68%	102. 10%	121. 62%	103. 47%	75. 08%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年度実績値	52, 328	47, 649	51, 457	53, 247	50, 176	48, 564	669, 477
2022年度目標値	46, 572	42, 408	45, 797	47, 390	44, 657	43, 222	595, 835
目標比率	89%	89%	89%	89%	89%	89%	89%
2022年度実質値	63, 115	48, 254	45, 531	51, 150	50, 679	48, 704	650, 451
達成率	73. 79%	87. 88%	100. 58%	92. 65%	88. 12%	88. 74%	91. 60%

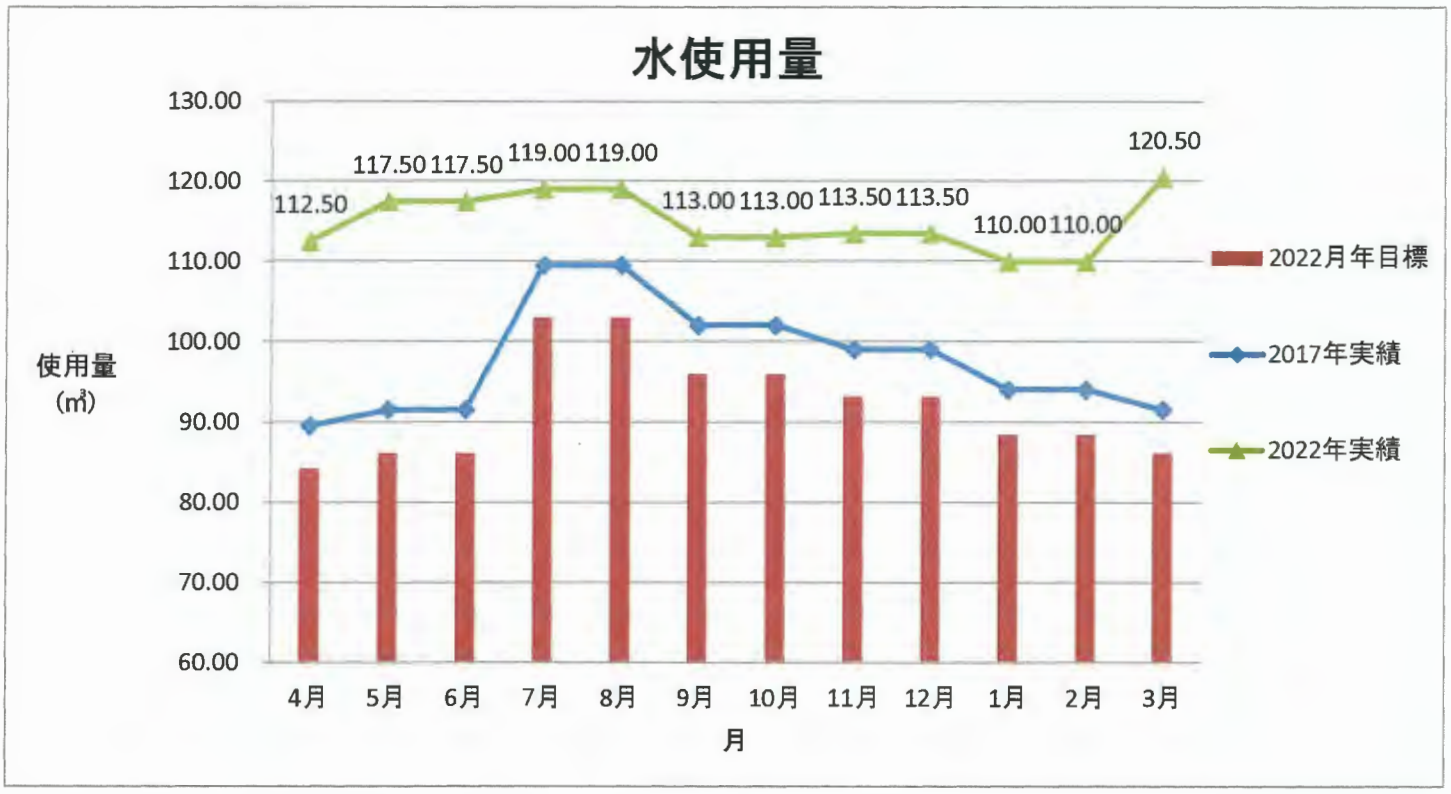


二酸化炭素排出量（自動車）2022年4月～2023年3月

(kg-CO2)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年度実績値	1, 643	1, 527	1, 832	1, 755	1, 651	1, 681
2022年度目標値	1, 594	1, 481	1, 777	1, 702	1, 601	1, 631
目標比率	97%	97%	97%	97%	97%	97%
2022年度実質値	1, 442	768	823	839	1, 131	710
達成率	110. 52%	192. 86%	215. 92%	202. 90%	141. 60%	229. 66%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年度実績値	1, 895	1, 697	1, 782	1, 775	1, 540	1, 539	20, 317
2022年度目標値	1, 838	1, 646	1, 729	1, 722	1, 494	1, 493	19, 707
目標比率	97%	97%	97%	97%	97%	97%	97%
2022年度実質値	881	603	878	780	826	726	10, 407
達成率	208. 64%	272. 98%	196. 87%	220. 74%	180. 85%	205. 62%	189. 37%

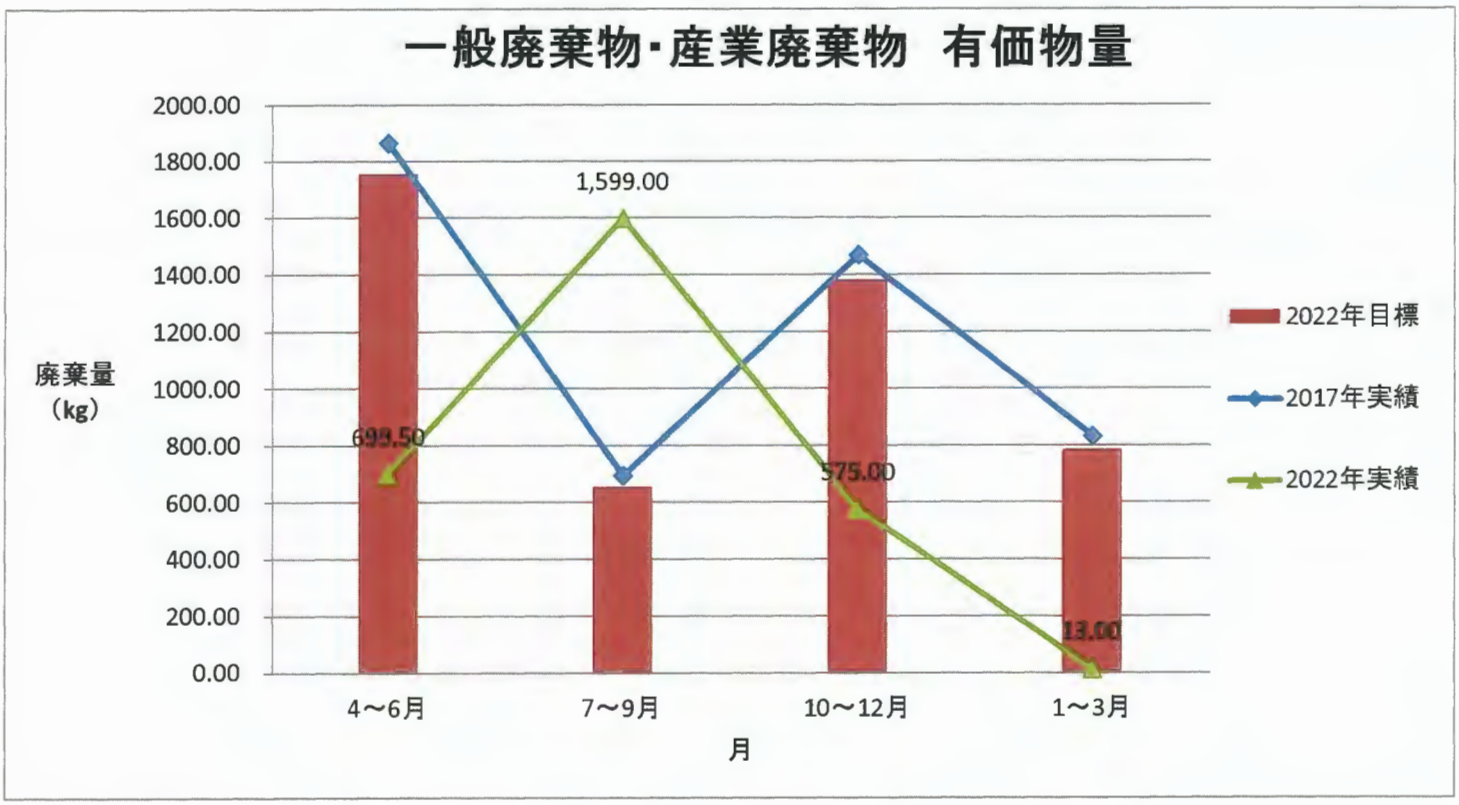


水使用量　2022年4月～2023年3月

(㎥)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年度実績値	89. 50	91. 50	91. 50	109. 50	109. 50	102. 00
2022年度目標値	84. 13	86. 01	86. 01	102. 93	102. 93	95. 88
目標比率	94%	94%	94%	94%	94%	94%
2022年度実質値	112. 50	117. 50	117. 50	119. 00	119. 00	113. 00
達成率	75%	73%	73%	86%	86%	85%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2017年度実績値	102. 00	99. 00	99. 00	94. 00	94. 00	91. 50	1173. 00
2022年度目標値	95. 88	93. 06	93. 06	88. 36	88. 36	86. 01	1102. 62
目標比率	94%	94%	94%	94%	94%	94%	94%
2022年度実質値	113. 00	113. 50	113. 50	110. 00	110. 00	120. 50	1379. 00
達成率	85%	82%	82%	80%	80%	71%	80%



一般廃棄物　2022年4月～2023年3月

(kg)

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計
2017年度実績値	10. 00	22. 00	15. 00	35. 00	82. 00
2022年度目標値	9. 40	20. 68	14. 10	32. 90	77. 08
目標比率	94%	94%	94%	94%	94%
2022年度実質値	19. 50	12. 00	10. 00	13. 00	54. 50
達成率	48%	172%	141%	253%	141%

産業廃棄物・有価物　2022年4月～2023年3月

(kg)

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計
2017年度実績値	1856. 00	673. 00	1453. 00	798. 00	4780. 00
2022年度目標値	1744. 64	632. 62	1365. 82	750. 12	4493. 20
目標比率	94%	94%	94%	94%	94%
2022年度実質値	680. 00	1587. 00	565. 00	0. 00	2832. 00
達成率	257%	40%	242%	0%	159%

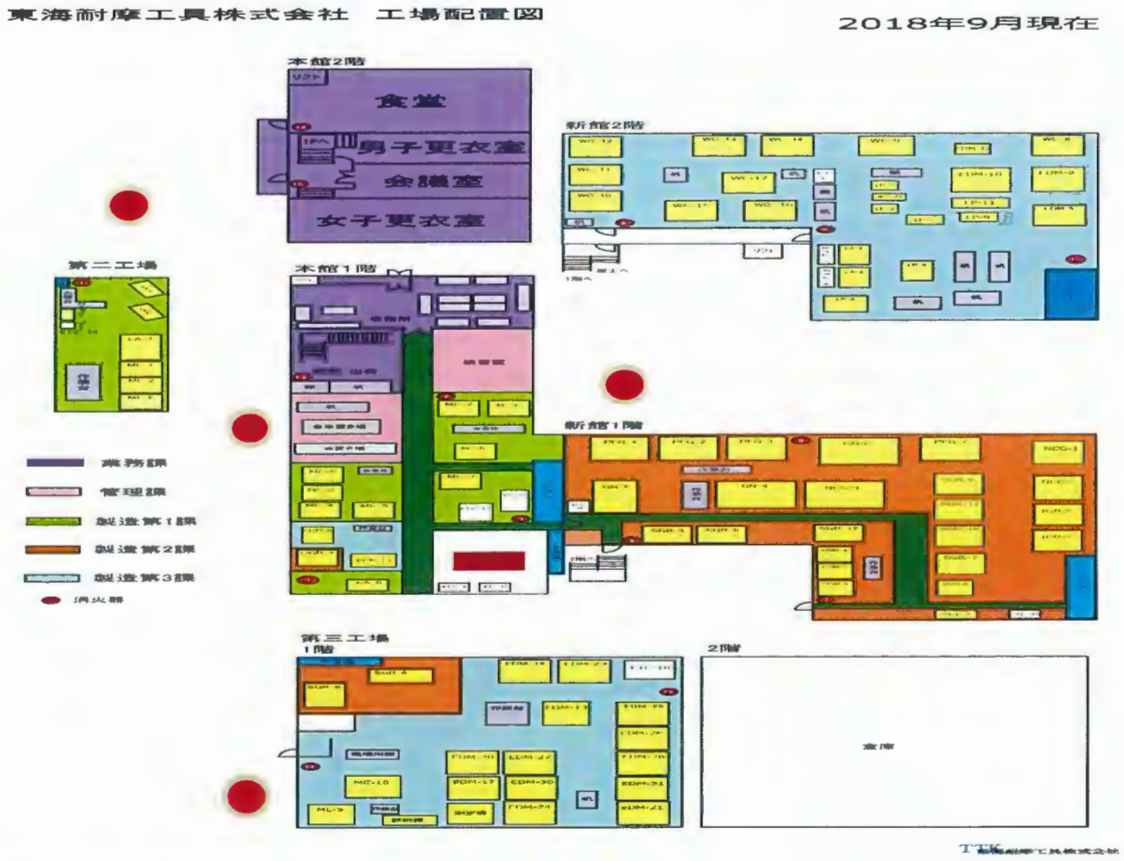
合計　2022年4月～2023年3月

(kg)

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計
2017年度実績値	1866. 00	695. 00	1468. 00	833. 00	4862. 00
2022年度目標値	1754. 04	653. 30	1379. 92	783. 02	4570. 28
目標比率	94%	94%	94%	94%	95%
2022度実質値	699. 50	1599. 00	575. 00	13. 00	2886. 50
達成率	251%	41%	240%	6023%	158%

騒音・振動測定結果
(2022/07/28実施)

測定場所：工場敷地境界の東西南北● 4地



騒音：第４種区域　工場地域

時間	基準値(dB)	測定回数 測定開始時間	実測値			
			東	西	南	北
朝 6:00～8:00	65	1回目	47.8	50.3	44.9	42.3
		2回目	49.3	50.7	45.9	46.2
		測定開始時間	7:55	7:50	8:00	7:45
昼 8:00～19:00	70	1回目	50.4	51.3	46.3	48.2
		2回目	49.3	50.9	46.8	47.9
		測定開始時間	11:30	11:36	11:45	11:55
夕 19:00～22:00	65	1回目	45.9	47.1	45.8	50.1
		2回目	48.2	46.9	44.1	42.2
		測定開始時間	19:10	19:15	19:20	19:00
夜 22:00～6:00	60	1回目	40.3	42.9	39.9	43.9
		2回目	41.9	46.2	41.8	41.1
		測定開始時間	22:10	22:15	22:20	22:00

振動：第二種区域２　工場地域

時間帯	基準値(dB)	測定回数 測定開始時間	実測値			
			東	西	南	北
昼 7:00～20:00	70	1回目	47.9	48.9	49.1	48.4
		2回目	47.9	48.8	49.1	48.4
		測定開始時間	7:55	7:50	8:00	7:45
夜 20:00～7:00	65	1回目	47.7	47.9	48.0	47.6
		2回目	47.7	47.8	48.3	48.1
		測定開始時間	22:10	22:15	22:20	22:00

騒音・振動共に、基準値を超えてなかった。

6．取組実例紹介

外壁冷却設備

スプリンクラー取り付け（本館　屋根上）

本館の屋根を冷やす事により本館室内温度を下げる効果

再利用水タンク

垂れ流しだったスプリンクラー使用水を溜める

2022年度はタンクに貯めた水を循環させ再利用する

⇩

水循環装置改造は出来なかった

⇩

2023年度目標に繰越

再利用水で地面を冷やす

タンクからパイプを使用し水を流す

CNC内面研削盤機　　新規購入

太陽工機　IGV-3NT

汎用旋盤　新規購入及びオーバーホール

緊急事態試行対応訓練
～油置場～

日時　2022年7月22日（金）　午後15時～15時10分

活動内容　地震により、油置場の油缶が倒れ流れ出した事を想定し、水を流し吸油マットで　土壌浸透・社外流出を防ぐ。
手順書の説明
参加者：主に本館一階にて作業を行う者、環境事務局員

緊急時対応　油置場の棚の倒れ発生
↓
油流出
↓
油取りマット置き場にある緊急時専用の油取りマットを流れ出した油の上に直接 乗せ吸油させ, 油の土壌浸透・社外流出を防ぐ

活動風景

①環境事務局により手順書を使用し説明

②油の変りにバケツ1杯の水を流す

③流れた油の上に直接乗せる

製造部長 感想	本館1階にて作業を行う者を対象に行い、参加者全員がきちんと緊急時の対応を理解する事が出来た。いつ大きな地震が起きるか分からないので、普段から意識し作業を行っていきたい。

社会貢献

～会社周辺の清掃～

日　　時　2022年7月22日　　午後15時～16時

活動内容

全社員（役員・パート含む）にて、会社周辺地域清掃活動を行った。

・会社周辺のゴミ拾い
・会社周辺の雑草の伐採

活動風景

環境事務局長 感想	地域清掃は毎年２回（夏…６月　冬…１２月）に行っている。 煙草の吸殻や、空き缶ペットボトルが多いように感じられた。 年２回の地域清掃時だけではなく、１人１人が常に清掃の意識を持って過ご すことが出来れば、会社周辺がもっと奇麗になると感じた。

ゴミ回収量　雑草・落ち葉45ℓビニール袋10袋　空き缶・不燃ごみ等45ℓビニール

７．次年度（2023年度）の取組内容

（2023/4～2024/3）

目標項目		基準値（基準年2017年度）	基準年度比	88%
			目標値	589,141 kg-CO2
二酸化炭素排出量	電力の削減	1,418,387kwh 669,479kg-co2 2017年度 中部電力 2017年度 二酸化炭素 調整後排出係数 0.472ｋｇ-ＣＯ 2/ｋＷｈ	達成手段	空調温度の適正化 （冷房２８℃　暖房２０℃） エアコンフィルター清掃 生産工程の待機時間削減 前処理の合理化 加工時間短縮 製造工程変更 省エネ用LED照明切り替え（工場） WC機械1台更新 エアコン更新
	自動車燃料の削減	8,751ℓ 20,317kg-CO2 2017年度	基準年度比	96%
			目標値	19,504 kg-CO2
			達成手段	アイドリングストップ 急加速・急停車の防止 社有車1台買換え
	合計	699,796kg-CO2		608,645 kg-CO2
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	82.0kg 2017年度	基準年度比	93%
			目標値	76.3 kg
			達成手段	両面コピーの徹底 個人ゴミ削減 会議資料・予定表のペーパーレス化
	産業廃棄物・有価物の削減	4780kg 2017年度	基準年度比	93%
			目標値	4,445 kg
			達成手段	工程内不良削減（前年度比10％減） 購入材料見直し 鉄・超硬の有効活用
	合計	4862kg		4,521.3 kg
総排水量	節水	1173㎥ 2017年度	基準年度比	93%
			目標値	1,090.89 ㎥
			達成手段	節水呼び掛け （ポスター） 洗浄工程の改善 外壁冷却水削減 （スプリンクラー水再利用） 省エネトイレ取付

化学物質	化学物質の削減（ＰＲＴＲ法対象外）	229.5kg 2017年度	基準年度比	93%
			目標値	213.44 kg
			達成手段	洗浄する製品の選別 使用量の適正化 作業ミスによる使用量増加の抑制 物質の気発防止（保管方法） 環境に優しい化学物質の選別
物質投入	グリー ン購入	比率 100%	基準年度比	100%
			目標値	100%
			達成手段	事務用品はグリーンマークの有無を確認 機械設備等は、機械を比較し環境に優しい商品を購入。
環境配慮	環境負荷の低減を目指したものづくり	22,295円 包装紙金額 2017年度	基準年度比	93%
			目標値	20,734 円
			達成手段	再生資源使用 包装方法の見直し 包装する製品の見直し 包装紙削減
社会貢献	会社周辺の清掃	年2回　実施 夏…6月 冬…12月	基準年度比	100%
			目標	年2回
			達成手段	6月・12月の社内大掃除時に 会社周辺の清掃時間を設ける

8．環境関連法規制等の遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	監査・測定項目	点検・測定頻度、実施時期	遵守評価	
				証拠	判定
廃棄物処理法	・委託基準：一廃収集業者の許可の確認	契約書の確認	３月	契約書	○
	・委託基準：産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	契約書の確認		契約書	○
	・保管基準 掲示板：60cm×60cm以上表示 飛散・浸透防止 衛生管理	廃棄物置き場の確認		報告書	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	契約書の確認	4月始め	報告書	○
	・マニフェスト交付 B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内の知事への報告 A、B2、D、E票の保管（5年間）	マニフェスト発行返却期限の確認	新規交付時又は月末	ﾏﾆﾌｪｽﾄ	○
	・現地確認	現地確認	委託契約3ヶ月前以内、定期：1回／年以	報告書	○
騒音規制法	・特定施設の事前届出	敷地境界線の騒音	新設/変更時・異常音の日常管理 7月	届出書 報告書	○
	・地域別騒音基準の遵守	第4種区域　工業地域 朝…65dB 昼…70dB 夕…65dB 夜…60dB			
振動規制法	・特定施設の事前届出	敷地境界線の振動	新設/変更時・異常音の日常管理 7月	届出書 報告書	○
	・地域別振動基準の遵守	第二種区域２工業地域 昼…70dB 夜…65dB			
フロン排出抑制法	・フロン類の登録回収業者による適切な回収	工程管理票 取引証明書の確認	廃棄時修理時　３月	委託確認書 引取証明書	○
	・フロン類回収時の委託確認書交付と引取証明書の保存（3年間）				
	・点検の義務化	対象物の確認	3ヶ月に1回	簡易点検書	
消防法	・少量危険物取扱所	使用量・保管量管理表の確認	1月	管理表届出表	○
	・届出を要する物質	保管料		報告書	
水濁法	緊急時訓練	現地確認	６．１２月	記録	○
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める	パンフレットの確認	1月	パンフレット	○
家電リサイクル法	引き渡し	取引証明書の確認	廃棄時 1月	取引証明書	非該当
建築リサイクル法	計画の届出	取引証明書の確認	発注時 1月	取引証明書	非該当
下水道法	水質基準 （水量１日平均2㎥なので下水道法には非該当）	測量証明書の確認	3月	測量証明書	○
顧客グリーン調達基準	PRTR物質等の未使用指定材料	化学物質証明書の確認 材料証明書の確認	3月	材料証明書 化学物質証明書	○

尚、関係当局より違反等の指摘は過去３年間ありません

9．代表者の全体の評価と見直し結果

見直しに必要な情報	代表者による見直し
環境管理責任者の報告及び改善への提案	変更の必要性の有無・指示事項
[取り組み状況の評価結果] ①環境関連法規制等の順守状況（環境関連法規制等順守記録によ ・2023年4月21日に定期評価を実施した結果順守されている ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 ・原単位での数値把握 ・年間を通した水量の原因 ③前回までの代表者の指示事項への対応 ・長期申し送りになっている内容の見直し ・各項目の適切使用量 ＜改善への提案＞ ・なし	[環境経営方針] 変更の必要性：　□有　　■無 環境経営方針を変更しなければならない問題点はなかった。 [目標・活動計画] 変更の必要性：　■有　　□無 長期申し送りになっている検討事項は、切り口を変えて対策・計画を立て直すことを考えてください。コロナ禍で色々なものに対し、費用削減をおこなってきた。そのなかで戻さなければならない物、戻さなくてもよいものをはっきりさせて、環境負荷を低減させていくことに努めるように管理してください。

[目標・環境経営活動計画の達成状況]

（詳細は環境経営活動計画書による）

目標項目	目標値達成状況	活動計画実施状況	コメント（目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント）	評価・指示
電力の削減	×	△	基準年669,479kg-co2に対して650,450kg-co2と目標値の90％減は未達成だが、97％と削減する事は出来た。来期は売上増は予想してるので、今期実施出来なかったエアコン更新、LED化を計画に入れ進めていく。	年間を通じて業績悪化の為費用が掛かるエアコン更新やLED化がスケジュール通り実行は難しかったが、来期以降計画見直しを行ってください。目標値には達していないが基準年より削減出来ていることは評価できる。新規購入した機械を効率よく活用し、社内改善と共に進めてください。
ガソリンの削減	○	○	基準年20317.54kg-co2に対して10405.52kg-co2と基準年度比51％と目標を達成することが出来た。今期は5月に台数が1台減ったので目標値を変える必要があった。来期以降は台数を4台へ戻すのでもう一度目標手段を周知し事	今期は社有車が1台減ったことにより基準年比率51％となったが、1台減ることが分かっていた時点での目標変更を行い実施しなければならなかった。
一般廃棄物の削減	○	○	年間通じて基準年82ｋｇに対して54.5kgと基準年比率66％と目標達成することが出来た。会議のオンライン化での削減や個人ゴミ削減・両面コピーなのが浸透してきている。	目標達成出来たことは評価できる。来期以降もう一度手段の周知徹底を行い、ペーパーレス化や紙の両面使用の他の個人ごみの削減などで廃棄物の削減に努めてください。
産業廃棄物・有価物の削減	○	○	基準年4,780kgに対して2,832kgと基準年度比59％と目標達成できた。売上減が大きな要因とはなっているが、社内改善により鉄/超硬の有効活用の意識向上や工程内不具合減少・研磨代削減などの結果が出てきている。	目標達成出来たことは評価できる。業務改善を行い、不具合削減や鉄/超硬の有効活用の成果が表れていると思うので来期以降も改善を進めてください。
水の削減	×	△	基準年1,173㎥に対して1,379㎥と基準年度比118％と目標の94％を達成することが出来なかった。来期は外壁冷却設備改造や冬場の使用量削減方法を考える。	今期実施した外壁冷却設備はとても評価できる。来期は水量を削減する外壁冷却設備改造を考えてください。省エネトイレ取付の計画を見直してください。
化学物質の削減	○	○	基準年229.5kgに対して207.28kgと90％で目標を達成することが出来た。仕事量が大きく減った事が１番の要因だが、社内改善による不具合減少も効果が出ている。	仕事量が減った事が１番の要因ではあるが社内改善による不具合削減も効果が出ているので、この調子で来期以降も削減に努めてください。
グリーン購入の推進	○	○	目標通りグリーン購入100％の目標達成することが出来た。　来期は今期実施出来なかった、エアコン更新計画を立て実行していく。	エアコン更新をタイミングを計らい実行してください。
製品への環境配慮	○	○	基準年22,925円に対して20,495円と基準年度比89％と目標達成することが出来た。包装方法の見直し・包装する製品の見直しを客先と少しずつ進めて行けている	包装方法や包装する製品の見直しを客先と進められている事は評価出来る。来期移行も削減に努めてください。

＜改善への提案＞
業務改善により工程変更、不具合削減をおこない品質と環境を上手く繋げる事を意識してください。

［その他］

変更の必要性：　■有　　□無

今年度行う事が出来なかった活動計画の見直し

［周囲の変化の状況］

①外部コミュニケーション記録より
・外部からの苦情等なし。

②環境関連法規制等の動向他
・なし
＜改善への提案＞

［実施体制の評価］

各部門毎に役割・責任・権限がしっかりと守られている。
全従業員の自主的・積極的な環境経営活動への参加が最も重要な事なので、これからも、全従業員への環境経営方針・環境経営目標・環境経営活動の周知を随時行って行く。

［総括］

エネルギーコスト増加が業績悪化の要因としてあります。
仕事量や気候により左右される部分は多々あると思いますが、業務改善による、効率のよい生産をすすめ、無駄な待機電力や稼働を減らすよう、品質活動と合わせて活動していくことが必要になっていきます。
上手く活動をリンクさせて、結果につながるように活動してください。